

2024 年度 外国語教育研究所活動報告

4月24日(水)	第1回(通算第93回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度研究所活動計画について ・2024年度研究員活動計画について ・第14回公開講演会について ・研究員の役割分担について ・HP更新について ・その他
5月29日(水)	第2回(通算第94回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度収支について ・2024年度予算について ・第14回公開講演会について ・研究所紀要作成について ・その他
6月22日(土)	外国語教育研究所主催 第14回公開講演会 ※対面・Zoom ウェビ ナーのハイブリッド形式 にて開催	<p>「AI時代の外国語教育 一言語と人間はどう変わるか」 挨拶 外国語教育研究所長 岡田 圭子</p> <p>1. 基調講演 <講演者> Tom Gally (東京大学名誉教授/東京大学グロー バル教育センター特任教授)</p> <p>2. 質疑応答 <モデレーター> 三谷 裕美 (外国語教育研究所主任研究員)</p>
6月26日(水)	第3回(通算第95回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回公開講演会について(報告) ・研究所紀要作成について ・2023年度事業報告書作成について ・その他
7月31日(水)	第4回(通算第96回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度事業報告書作成について ・その他
	第1回(通算第37回) 研究例会	<p>学生が教えてくれたこと—模擬授業指導を通して— <発表者> 中村 公子 (外国語教育研究所研究員)</p>
10月30日(水)	第5回(通算第97回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・研究所紀要作成について ・その他
11月27日(水)	第6回(通算第98回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回高大懇話会について ・研究所紀要作成について ・その他
	第2回(通算第38回) 研究例会	<p>語学の授業は何を教えるのか～日本語教育を例として <話題提供者> 浅山 佳郎 (外国語教育研究所研究員)</p>
11月30日(土)	事業報告書の発行 ※PDFデータにて作 成・HPへ公開	<p>「獨協大学外国語教育研究所2023年度事業報告書」(Annual Report of the Institute for Research in Foreign Language Teaching Dokkyo University)</p>
1月29日(水)	第7回(通算第99回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回高大懇話会について ・紀要作成について ・第15回公開講演会について ・その他
	第3回(通算第39回) 研究例会	<p>語学の授業は何を教えるのか～日本語教育を例として <話題提供者> 浅山 佳郎 (外国語教育研究所研究員)</p>

2月22日(土)	第14回高等学校外国語 担当教員との懇話会	<高等学校外国語担当教員> 後藤 範子 (元埼玉県立不動岡高等学校) 成瀬 博文 (獨協埼玉中学高等学校) 能登 慶和 (獨協医科大学 / 東京都立北園高等学校) 松田 雪絵 (埼玉県立和光国際高等学校) 山崎 夏絵 (埼玉県立越谷南高等学校) <外国語教育研究所研究員> 岡田 圭子 (所長) 三谷 裕美 (主任研究員) 浅山 佳郎 浅岡 千利世 辻田 麻里 (客員研究員) 渡邊 一弘 (客員研究員) 市原 ひかり
3月31日(月)	紀要の発行	『獨協大学外国語教育研究所紀要』第13号 (Dokkyo Journal of Language Learning and Teaching, Vol.13)

外国語教育研究所研究員一覧

氏名 研究課題	所属 / 職位
岡田 圭子 外国語教育における高大連携	所長 / 経済学部経済学科 / 教授
三谷 裕美 英語学習における小・中・高・大学連携と学習者ニーズに基づくカリキュラム開発	主任研究員 / 法学部法律学科 / 准教授
浅山 佳郎 (1) 中国少数民族自治区における日本語学習を含む外国語学習の状況について (2) 日本語学習者の中間言語研究 (3) 日本語のカートグラフィーにおける Topic と Focus の位置について	国際教養学部言語文化学科 / 教授
浅岡 千利世 Narratives of language teacher educators: Through forming a collaborative community of practice of teacher educators	外国語学部英語学科 / 教授
Marco RAINDL Developping interactive competence in German through virtual exchange	外国語学部ドイツ語学科 / 准教授
中村 公子 1. 「フランス語科教科教育法」の授業内容と指導法の再考 2. 「(外国語の) 教科教育法」担当者としての教師教育者に必要な資質と能力	外国語学部フランス語学科 / 教授
小宮 秀陵 複言語主義と韓国史像の多元性	国際教養学部言語文化学科 / 准教授
明田川 聡士 初級中国語授業における高大連携の問題点と改善策	国際教養学部言語文化学科 / 准教授
渡邊 一弘 多様化する能力観の時代における EGAP 教育の再定位	客員研究員 / 京都大学成長戦略本部特定助教
辻田 麻里 認知言語学の言語教育への応用	客員研究員 / 国際基督教大学アーツ・サイエンス学科准教授
市原 ひかり ・外国語教育におけるホリスティックアプローチ ・ABR (Arts-based Research) 研究に根ざした教育方法の探求	外国語学部英語学科 / 特任助手

計 11 名

『獨協大学外国語教育研究所紀要』

投稿規程

1. 投稿資格

原則として、獨協大学外国語教育研究所に所属する研究員、または本学の専任教員とする。それ以外からの投稿については編集委員会および外国語教育研究所連絡会で審議する。

2. 投稿条件

投稿論文は言語教育に関するものとし、未発表のものに限る。また、第一著者としての投稿は一篇に限る。

3. 投稿論文の種類

投稿論文には以下の種類があり、提出時に申し出ることとする。

- (1) 論文
- (2) 実践報告：具体的な教育活動に重点を置いた報告。
- (3) 研究ノート：特定のテーマへの萌芽的な取り組み、関心領域についてまとめたもの。

4. 使用言語

執筆言語は日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、韓国語、中国語とする。

5. ガイドライン

以下のガイドラインに沿っていない投稿は、査読の対象としないので注意されたい。**論文投稿用テンプレートを必ず使用すること。**

- (1) 執筆にはマイクロソフト・ワードを使用し、A4版の横書きとする。
- (2) 原稿の余白は上端 20mm、下端 24mm、左右各 23mm ずつあける。注は通し番号を付けて、脚注に設定する。ヘッダー・フッター、ページ数番号は設定しない。
- (3) 原稿はアブストラクト、出典、図表、付録など全てを含めて 20 ページ以内とする。
- (4) 本文が日本語の場合には「4. 使用言語」で規定されている外国語（200 語程度）、本文が日本語以外の言語の場合は日本語（400 字程度）で、アブストラクトを執筆する。
- (5) 以下のフォントのガイドラインに従う。

	和文	欧文
フォント	MS 明朝	Century
フォントサイズ（本文・アブストラクト）	11 ポイント	11 ポイント
フォントサイズ（タイトル）	16 ポイント	16 ポイント
フォントサイズ（サブタイトル・著者名）	12 ポイント	12 ポイント
フォントサイズと書式（見出し）	12 ポイント + ボールド	12 ポイント + ボールド
フォントサイズ（小見出し）	11 ポイント + ボールド	11 ポイント + ボールド

フォントサイズ（脚注）	9ポイント	9ポイント
原稿レイアウト	42字×33行	33行

6. 採録の決定および通知

掲載論文の採否は編集委員会が所管し、査読を経て決定する。

7. 原稿提出締切り

2025年9月30日（火）

投稿予定の方は8月5日（火）までに研究所に、メールでその旨をお知らせください。

8. 原稿送付先

下記のアドレスにメール添付にて提出してください。論文の本文が日本語の場合には「4. 使用言語」で規定されている外国語のタイトルを、本文が日本語以外の言語の場合は日本語のタイトルをメールでお送りください。また、同時に、原稿を投稿した旨を別メールにてお知らせください。予期せぬ通信事故を防ぐために、ご協力ください。

E-Mail: amanoken_kiyou@ml.dokkyo.ac.jp

9. 獨協大学学術リポジトリ

本紀要に掲載された論文等は、獨協大学学術リポジトリへの登録および論文のオンライン公開を行う。ただし、執筆者が複製権および公衆送信権を許諾する場合に限る。

10. その他

- (A) 紀要は原則として毎年1回3月に発行する。
- (B) 本誌に投稿される論文（紙媒体、オンラインともに）の著作権に関する規程は別に定める。
- (C) 抜刷りは30部までを著者に贈呈するが、それ以上の印刷は自己負担とする。

獨協大学外国語教育研究所
編集委員会

投稿先：獨協大学外国語教育研究所 編集委員会

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1 獨協大学天野貞祐記念館4階

TEL：048-946-1846 / FAX：048-946-1846

E-Mail: amanoken_kiyou@ml.dokkyo.ac.jp

CALL FOR PAPERS

Dokkyo Journal of Language Learning and Teaching

Submission Guidelines

1. Requirements for submission

In principle, contributors should be research fellows at the Dokkyo University Institute for Research in Foreign Language Teaching (AMANO-ken for short), or full-time teaching staff at Dokkyo University. Other manuscripts will be considered by the editorial board and by the Institute's committee.

2. Requirements for manuscripts

Manuscripts must be related to language education, and must not have been previously published. Only one article can be submitted by a contributor as the first author.

3. Types of submissions

Manuscripts may be of the following three types (to be noted at the time of submission)

- (1) Research paper
- (2) Practical teaching ideas: Reports focusing on specific classroom activities
- (3) Research notes: Exploratory work on specific themes or summaries of areas of interest

4. Languages for submissions

Submissions may be written in Japanese, English, German, French, Spanish, Korean, or Chinese.

5. Guidelines

Manuscripts which do not follow these guidelines will not be considered for review.

Authors must use the template for submission.

- (1) Submissions should be written using Microsoft Word, set for A4-size paper, using horizontal script (left to right).
- (2) The margins of the manuscript should be as follows: top - 20mm, bottom - 24mm, left and right sides - 23mm. All footnotes should be sequentially numbered and placed at the bottom of the corresponding page. Headers, footers, and page numbers should not be used.
- (3) Manuscripts should not exceed 20 pages (including abstract, references, figures, tables, and appendixes).
- (4) Japanese manuscripts should include an abstract (approx. 200 words) written in one of the languages listed above in #4 Languages for submissions. Manuscripts in languages other than Japanese should include an abstract (approx. 400 characters) in Japanese.
- (5) Follow the font size requirements

	Japanese	European Languages
Font	MS 明朝	Century
Font size (body)	11 point	11 point
Font size (Title)	16 point	16 point
Font size (Subtitle · Author name[s])	12 point	12 point

Font size and format (headings)	12 point bold	12 point bold
Font size (subheadings)	11 point bold	11 point bold
Font size (footnotes)	9 point	9 point
Manuscript layout	42 字 × 33 行	33 lines

6. Review of manuscripts

Submissions will go through a review process, and acceptance or rejection will be decided by the editorial committee.

7. Deadline for submissions

Tuesday, September 30, 2025

It is highly appreciated if you notify the Institute of your intention of submission by August 5, 2025, through e-mail.

8. Address for submissions

Send your article in an e-mail attachment to the following address. If your manuscript is written in Japanese, send the title written in one of the languages listed above in #4 Languages for submissions. If your manuscript is written in languages other than Japanese, send the Japanese version of your title.

You are also asked to send an e-mail message to notify the editorial committee that you have submitted your article. This is to avoid any unexpected problems.

E-Mail Address: amanoken_kiyou@ml.dokkyo.ac.jp

9. Dokkyo University Academic Repository

The published article will be archived in the Dokkyo Academic Repository and will be made available to the public online if the author grants the right of reproduction and the right of public transmission.

10. Miscellaneous

- (A) The journal will be published annually in March, as a rule.
- (B) Details concerning the copyright of manuscripts published in the journal (both in paper and online) will be stipulated separately.
- (C) Authors will be given 30 offprints of their articles. Additional offprints can be provided at the author's expense.

Dokkyo University Institute for Research in Foreign Language Teaching
Editorial Committee

Address: Dokkyo University Institute for Research in Foreign Language Teaching

Amano Memorial Hall 4F

1-1 Gakuen-cho, Soka-shi, Saitama-ken 340-0042

TEL: 048-946-1846 / FAX: 048-946-1846

E-Mail: amanoken_kiyou@ml.dokkyo.ac.jp

編集後記

このたび「獨協大学外国語教育研究所（通称：AMANO 外国語研究所）紀要（第13号）」が発行の運びとなりました。本紀要では第1号より学外の研究者に査読をお願いしており、本号においてもご多忙のなか査読をお引き受けくださった先生方には、深く感謝を申し上げます。頂戴した多くの建設的なご意見が、紀要の質の向上に大いに寄与したものと確信しております。また、教育と研究でお忙しい毎日を送りながら、本紀要のために論文・研究ノート・実践報告を執筆していただきました投稿者の方々にも心よりお礼を申し上げたく存じます。

異なる言語・学術分野を専門とする研究者から投稿をいただくのは、本紀要の大きな特徴です。複言語主義と多様性は本研究所の柱であり、紀要もまたその思想を反映しています。一方、編集委員にとっては、多様性に富む各論文について査読者を選定するのは簡単な作業ではありません。本号でも、扱っている言語、研究テーマ、研究手法が多岐にわたり、査読をお願いする方を新たに探す必要がありました。初めて査読をお引き受けくださった先生はもちろん、査読者探しにご協力いただいた研究所内外の先生方にも厚くお礼を申し上げます。今後とも、多様な外国語教育研究の発表の場として、より良い紀要を目指してまいりますので、皆様にはぜひご一読の上、ご意見やご感想をお寄せいただけますと幸いです。

2024年度、本研究所は様々なイベントを催しました。6月に対面とZoomウェビナーのハイブリッド形式で公開講演会を開催することができ、学内会場とオンラインでたくさんの方々にご参加いただきました。また、7月、11月、1月に研究例会、2月には高等学校外国語担当教員との懇話会を開催しました。いずれの催しも、参加者の皆様のおかげで、外国語教育の発展を目指した活発な議論の場となりました。本研究所は、引き続き小・中・高等学校を含めた教育の現場や学内外の研究者との「連携」と「複言語」という2本柱を中心に、精力的に研究活動を継続していく所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

紀要編集にあたり、査読委員の先生方、編集委員会の先生方、教育研究推進課のスタッフのみなさま、そして何より、今年度末で任期満了に伴いご退職となる市原ひかり特任助手のこれまでの並々ならぬご尽力に対し、謹んで感謝の意を表します。

2025年2月

外国語教育研究所主任研究員
三谷裕美

獨協大学外国語教育研究所規程

平成 23 年 4 月 1 日 施行

第 1 条 獨協大学（以下「本学」という。）本学に獨協大学外国語教育研究所（以下「本研究所」という。）を設ける。

第 2 条 本研究所は、外国語及び外国語としての日本語（以下「外国語」という。）教育に関する調査及び研究を行い、本学及び社会の発展に寄与することを目的とする。

第 3 条 本研究所は、前条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- (1) 外国語教育に関する資料収集、調査及び研究
- (2) 外国語の教授法の研究及び開発
- (3) 外国語の教材の開発及び出版
- (4) 外国語能力の評価基準に関する研究
- (5) 大学における二言語併用教育の方法及び成果に関する研究
- (6) 外国語教育の成果に関する追跡調査
- (7) 他の教育機関及び研究機関との交流、連携及び共同研究
- (8) 受託研究及び受託調査の実施
- (9) 研究及び調査の成果の発表及び刊行
- (10) 研究会、講演会その他シンポジウムの開催
- (11) その他本研究所の目的達成に必要な事業

第 4 条 本研究所に所長をおき、本学の専任教員をもってあてる。

- 2 所長は学長が任命する。
- 3 所長は、本研究所の業務を統括する。
- 4 所長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

第 5 条 本研究所に研究員若干名をおく。

- 2 研究員は本学専任教員の中から所長が指名する。
- 3 研究員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。
- 4 研究員に関する内規は、別に定める。

第 6 条 本研究所に主任研究員をおき、研究員の中から所長がこれを指名する。

2 主任研究員は、本研究所の運営に関して所長を補佐する。

第 7 条 本研究所に客員研究員をおくことができる。

- 2 客員研究員に関する内規は、別に定める。

第 8 条 所長は本研究所の運営に関する事項を審議するため研究所連絡会をおく。

- 2 研究所連絡会は、所長、主任研究員及びその他の研究員をもって構成する。

第 9 条 所長は、当該年度の事業の状況並びに予算及び事業計画について年度ごとに部局長会に

報告しなければならない。

第10条 本研究所に事務職員をおく。

第11条 この規程の改廃は、全学教授会の審議を経て学長が行う。

附 則（平成 22 年規程第 33 号）

1 この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの間、施行する。

附 則（平成 26 年規程第 14-116 号）

2 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの間、施行する。

附 則（平成 29 年規程第 1 号）

3 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 35 年 3 月 31 日までの間、施行する。

附 則（2023 年規程第 1 号）

この規程は、2023 年 4 月 1 日から 2029 年 3 月 31 日までの間、施行する。

紀要査読者一覧

獨協大学外国語教育研究所から査読を依頼している先生方のお名前は以下のとおりです。ここに記して御礼申し上げます。

石 塚 美 佳	東京工科大学
井ノ上 佐 織	十文字学園女子大学
白 田 悦 之	函館工業高等専門学校
佐 藤 梓	神奈川大学
嶋 林 昭 治	龍谷大学
宗 宮 好 和	千葉大学
竹野谷 みゆき	東洋大学
名畑目 真 吾	筑波大学
早 川 杏 子	一橋大学
原 田 早 苗	上智大学
藤 井 彰 子	国際基督教大学
細 田 雅 也	成城大学
松 井 健 吾	神田外国語大学
森 好 紳	白鷗大学
渡 辺 敦 子	文教大学
HARTING, Axel	広島大学
LIPSKY, Angela	上智大学
SELWOOD, James	広島大学

(敬称略)

執筆者一覧

浅岡 千利世	研究員・外国語学部英語学科教授
浅山 佳郎	研究員・国際教養学部言語文化学科教授
木村 佐千子	外国語学部ドイツ語学科教授
木村 雪乃	法学部国際関係法学科准教授
飯島 優雅	経済学部経営学科教授
渡邊 一弘	客員研究員・京都大学成長戦略本部特定助教
三谷 裕美	研究員・法学部法律学科准教授
寺川 かおり	外国語学部ドイツ語学科専任講師
高 優美	国際教養学部言語文化学科特任講師
西 香生里	法学部総合政策学科特任助教

(掲載順)

獨協大学外国語教育研究所紀要 2024年 第13号

発行日 2025年3月31日

発行者 獨協大学外国語教育研究所（通称：AMANO 外国語研究所）
〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1
TEL 048-946-1846 / FAX 048-946-1846
<https://www.dokkyo.ac.jp/research/amanoken/>

印刷 河北印刷株式会社
<https://www.kawakita.com/>
